

アフィリエイトの仕組みと流れ

1. アフィリエイトの仕組み

アフィリエイトとは、ネットから**広告収入**を得る事です。
広告はメール、ブログ、ホームページなどに貼ります。

例 1)

次の画像は yahoo のトップページですが、
赤枠に「なめこのゲーム」の広告が貼ってあるのがわかります。



つまり、**この広告からだれからゲームをダウンロードしたりすれば、Yahooはこの「なめこゲーム」を運営している会社から報酬が貰える**ということになります。

例 2)

次の画像は nanapi というハウツーサイトの画像です。
赤枠の中に Ads by Google と書いてあるのが分かります。
これは Google アドセンスとって、
クリックされるだけで報酬が入る広告 (PPC 広告) です。



nanapi では色々な種類のハウツーが掲載されているので、
その種類に関連した Google の広告を貼ることで、
あちこちから広告収入を得ているというわけです。

2. アフィリエイトの流れ

アフィリエイトの流れを説明します。

1. 広告を貼る媒体を用意する

広告を貼る為には、広告を貼る場所が必要です。

媒体となるのは、メール、ブログ、ホームページ、ツイッターなどがあります。

ツイッターに広告？と思うかもしれませんが、

広告とは別に画像で表示されたものだけではなくて、

広告のアドレス（アフィリエイトリンク）を踏めば成果になるものがあるので
す。

2. ASP（アフィリエイトサービスプロバイダ）に登録する

ASP とは、色んな広告を集めてくれている会社の事です。

例えば、フレッツ光の広告を貼りたいとしましょう。

その場合、NTT に直接お願いするのではなく、

まずはフレッツ光の広告を扱っている ASP に登録する必要があります。

登録には審査があり、

審査用にブログや HP を持っておいた方が良いです。

3. ASP の中で自分が希望の広告と提携申請をする

ASP に登録ができたなら、提携したい広告を選び、提携申請をします。

提携申請をされた会社はその人が登録しているブログや HP を見て、
広告を貼るサイトに値するかどうかを審査します。

審査が通れば、晴れて広告を貼る事ができます。

4. 広告を貼る

審査が通ればアフィリエイト用のリンクが貰えます。

そのリンクを経由して誰かがサービスを利用すれば、

アフィリエイト報酬が ASP から支払われます。

3. 知っておくべき公式

アフィリエイトをするにあたって、以下の公式を知っておいて下さい。

アフィリエイト報酬=アクセス数×クリック率×約定率×報酬単価×広告数
※因みにクリック率×約定率をまとめて成約率なんて呼ばれたりしますが、あえて分けました。

<アクセス数>

自分が広告を貼っている媒体に**アクセスする人数**

<クリック数>

自分の媒体にアクセスした人が、**広告をクリックする割合**

<約定率 (コンバージョン率) >

広告をクリックした人が、**最終的にサービスを申し込む割合**、

<報酬単価>

1 人が広告を利用した時に発生するアフィリエイト報酬、それが**広告数**の数だけ入ります。

注目して欲しい事は、**全て掛け算**であるという事です。

これが意味する事は、

- ・もしどれかが**0**であれば、他の値がいくら大きくても報酬は**0**である。
- ・もしどれか**2**つが異常に高ければ掛け算されて爆発的な報酬を生む。
(当たり前ですが、広告数や商品単価を大きくすればいいというわけではありません。)

これをしっかり理解し、

今自分が力を注ぐべきはどこなのかをしっかりと認識する事が大切です。

ちなみに、

- ・**0**になる可能性が一番高いのは「成約率」です。
- ・あげるのが一番難しいのも成約率です。
- ・最も大きくしやすいのはアクセス数です。